

ABE KOGYO

施工説明書

施工業者様用

内装防音ドアユニット【T 4】(四方枠)

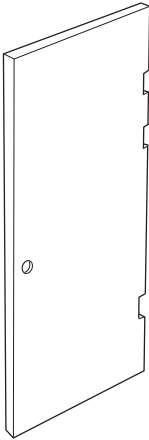

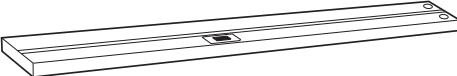
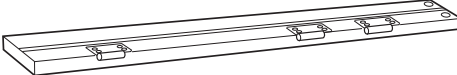
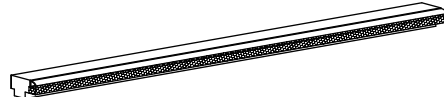
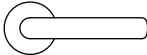



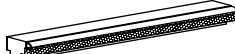



片開ドア

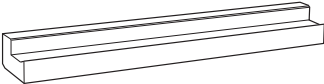
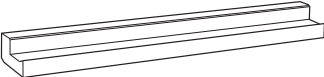
このたびは、ABE KOGYOの製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

⚠ 施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付け方をしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。

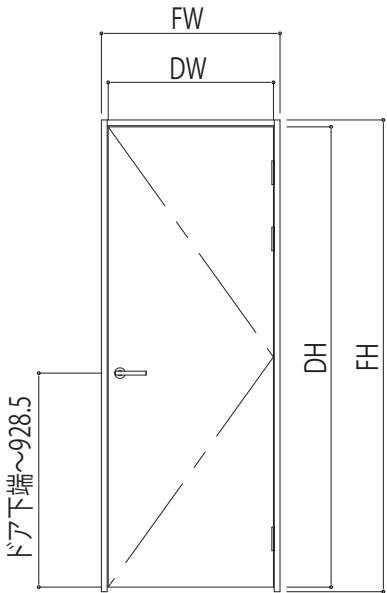
※特注品は施工方法が異なる場合があります。詳しくは担当者までお問い合わせください。

梱 包 内 容			
扉本体 参考.扉重量 2000×800 ≒40kg/本		上枠 (1)	
		縦枠 (1)	
		縦枠 (1)	
		縦用戸当り (2)	
レバーハンドル (1)		下枠(下戸当り) (1)	
扉側丁番 (3)	 	上用戸当り (1)	
調整ビス・ビスキャップ (戸当り取付用) 各16 (縦5.上3.下3)	 (4.5×47mm)	枠組立てビス (4)	 (3.4×50mm)
		躯体取付ビス (15)	 (4×62mm)

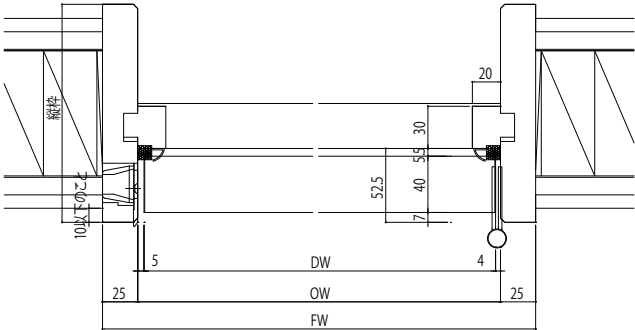
ケーシング梱包(ケーシングタイプのみ)			
ケーシング ※固定枠には 付きません。	縦	4	
	横	2	

納まり図

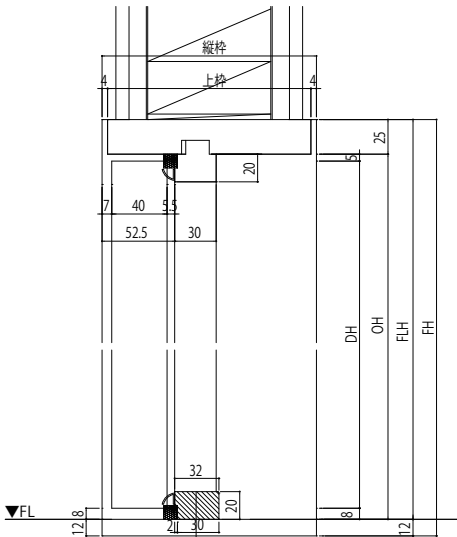
姿図



横断面図(固定枠)



縦断面図(固定枠)

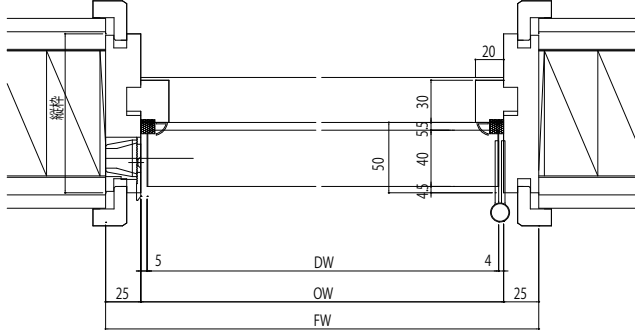


《枠品番構成》

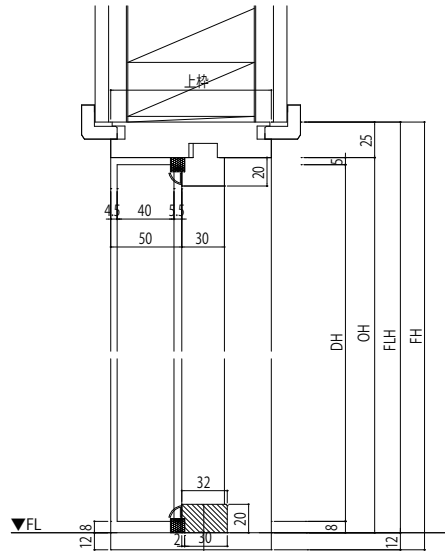
CU4X - ■ - □

固定枠	■	枠見込	□ 色品番
	W	114mm	
	S	155mm	
ケーシング枠	L	175mm	
	P(A~C)	113mm	
	Q(E~G)	150mm	

横断面図(ケーシング枠)



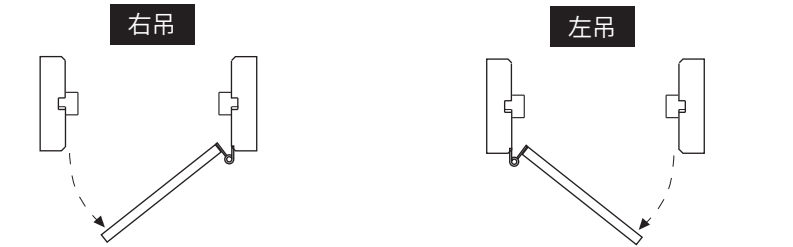
縦断面図(ケーシング枠)



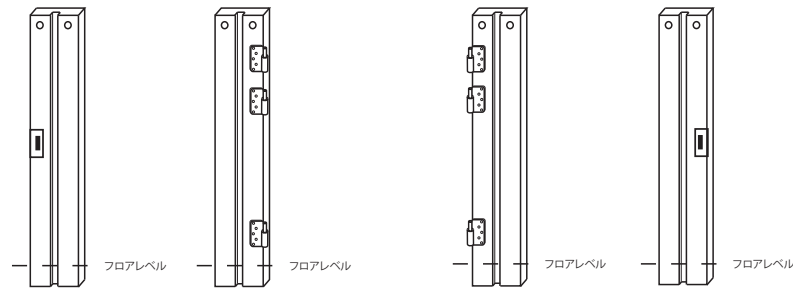
取付け順

1. 枠の組立て

①製品の勝手の開き方を下の図を参考に確認してください。

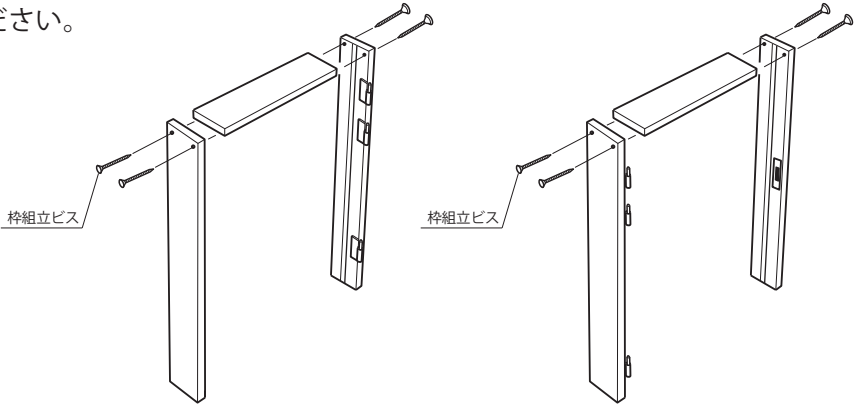


②必要に応じて下端をカットしてください。



③縦枠と上枠を、組立ビスで締め付けてください。

注意 納まりを確認ください。枠足12mm (FLより下に縦枠が12mm飲み込む) の設定になっています。納まりによって、現場切断などで調整が必要になる場合があります。



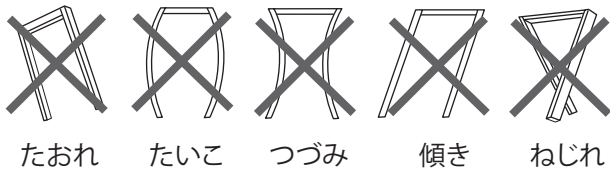
2. 枠の取付け

- ①開口部の水平・垂直を確認してください。
- ②木下地以外の場合、開口補強枠を3方設置してください。
- ③躯体取付ビスを使って、枠を取り付けてください。

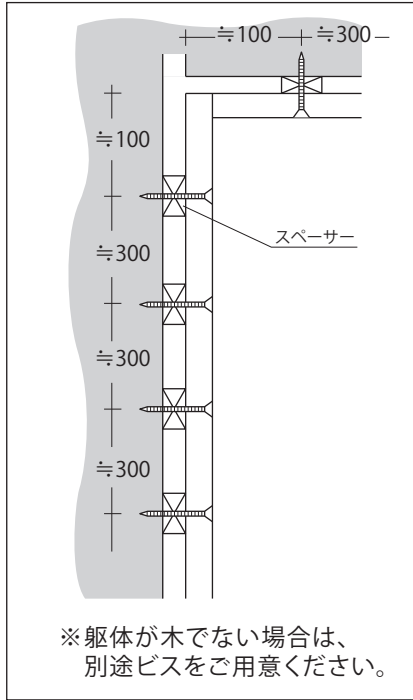
※付属のビスは木ビスです。躯体が木でない場合は、別途ビスをご用意ください。

※ドア枠と開口部に隙間があると、音が漏れ、遮音性能が著しく低下します。隙間がある場合は、遮音充填材や、防音コーキング材(いずれも市販品)で塞いでください。

※施工後の枠が下図にならないように水平・垂直および開口寸法の確認をしてください。



注意 戸当りの取付けは扉の吊込み時に行ってください。



3. 戸当り・下枠(下戸当り)の取付け

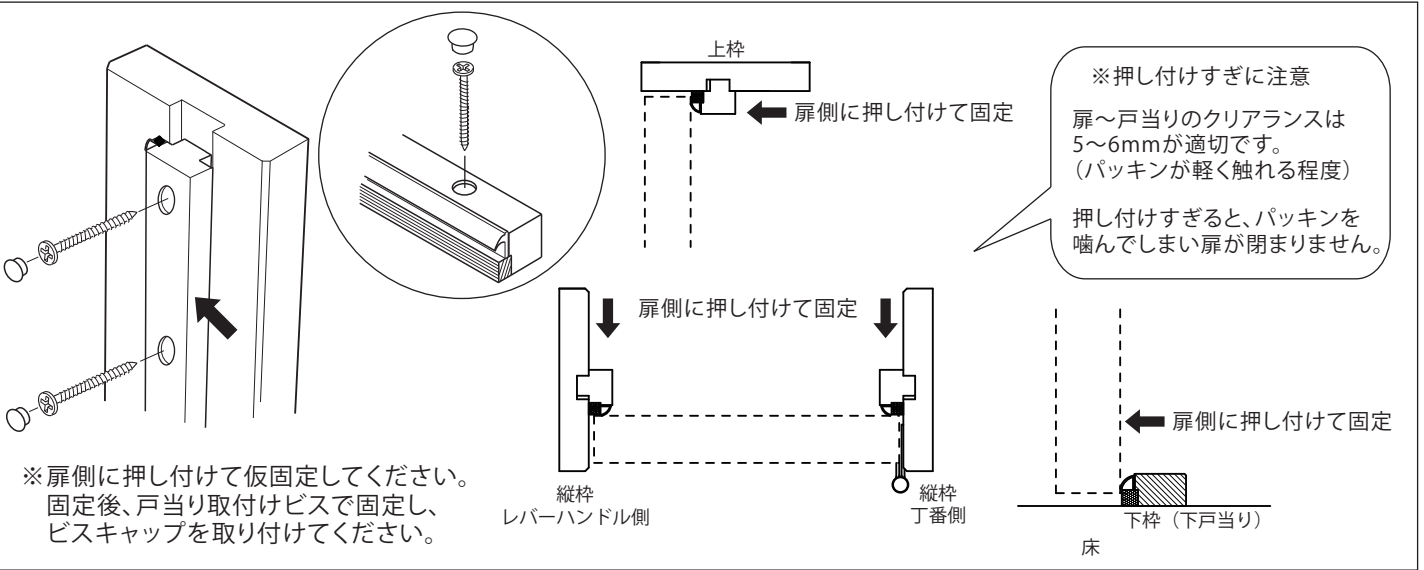
①扉を仮吊りし、戸当りに扉が密着するか確認してください。

②初めに、縦戸当りを取り付けてください。

※縦戸当りは、下枠(下戸当り)の上に乗せて納める仕様となります。

※戸当りと扉が密着していないと、音が漏れ、遮音性能が著しく低下します。戸当りは、扉側に押し付けて扉に密着させて固定してください。

※吊元側の戸当りは、押し付けすぎにより気密パッキンをかまないよう、加減して取り付けてください。



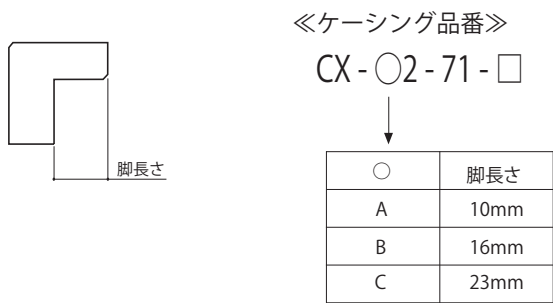
4. ケーシングの取付け(ケーシング枠の場合のみ)

①壁・床の施工が終了した後、現場寸法に合わせてカットしてケーシングを取付けてください。

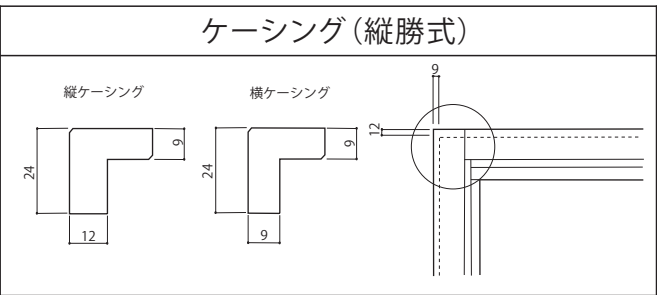
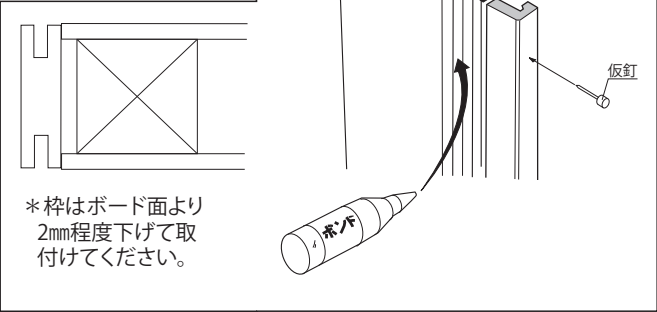
●ケーシングの納め方は縦勝式です。※形状に縦用と横用がありますので注意してください。

- ②縦ケーシングの高さ寸法を決め、カットして取付けてください。
- ③横ケーシングの長さ寸法を決め、カットして取付けてください。
- ④横ケーシングも適正寸法を現物に合わせて確認し、カットしてください。

※ケーシングには、脚の長さが3種類あります。壁厚など現場仕様に合わせて、使い分けできます。



枠のケーシング用溝に接着剤(木工用ボンド・現場手配)を塗布し、固定してください。

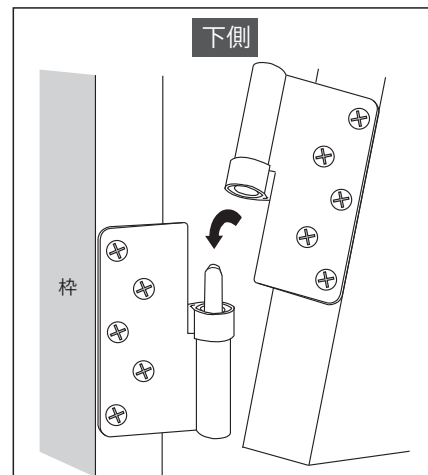


5. 扉の吊込み

●扉側丁番を枠側丁番の軸芯に差し込み、扉を取り付けてください。

注意

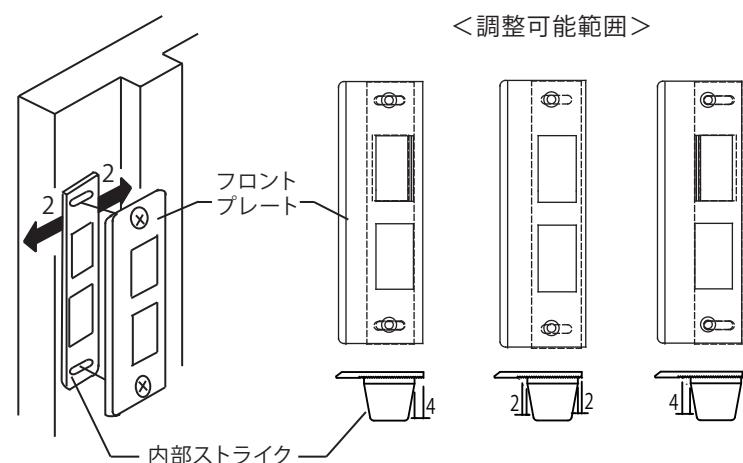
- ①一度扉を吊り込み、扉がスムーズに開閉できるかを確認してください。
- ②扉の保護のため、扉を一度取りはずし建築工事完了後に再度吊込むことをお勧めします。



6. 建付け調整

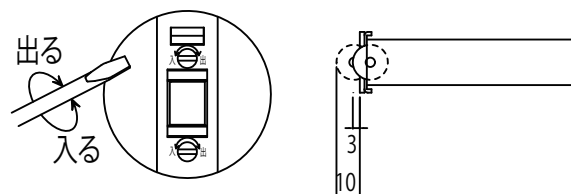
●気密性の調整

ストライク上下のネジを3～4mm緩めて、内部ストライクを希望の方向に動かしてネジを締めます。
調整可能範囲4mm。



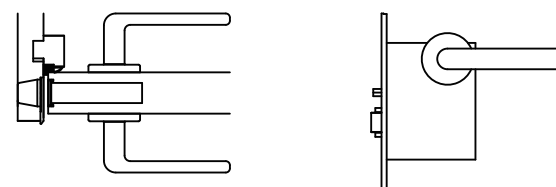
●ローラーの調整

ローラーの上下のネジを出側に回すとローラーが突出し空錠の強さが増します。空錠が強すぎたり枠のチリが少ない時は入側にネジを回してください。(上下のネジを一回転ずつ交互に調整してください。)



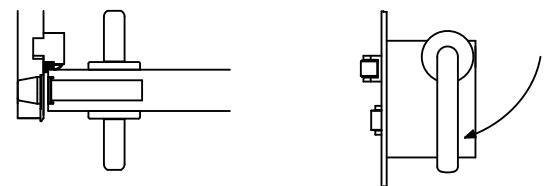
●操作方法

(空錠時)



通常の出入りは押す引くのみでローラー空錠の役目をします。

(防音時)



レバーを90度下へ回転するとドアは枠へ押し付けられて気密性が保持されます。

7. 施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
- ◆ネジのゆるみや枠のガタツキがないか確認してください。
- ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

※取付けが完了しましたら、扉が他の現場工事によって破損しないように「養生マツ」をご利用ください。

※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引き取っていただくようご協力をお願いいたします。

＜お手入れ方法＞

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れをおとし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。